

内航海運代替建造対策検討会について

1. 会議の趣旨と主な論点

内航海運は、我が国経済活動にとって必要不可欠であるとともに、環境に優しく効率的な輸送機関であるが、近年、国内産業構造の変化や世界経済のグローバル化の加速などを受け、産業基礎物資を中心として輸送量が低迷する中で、更なる輸送効率化への対応を求められるなど、その経営を巡る環境は大変厳しくなっている。

こうした中、内航海運を支える船舶の老朽化が急速に進んでおり、今後も安定的な輸送量を供給し続けるためには代替建造の促進が喫緊の課題となっている。

加えて、行政刷新会議において、暫定措置事業の早期解消の必要性が指摘されたところであり、そのためには内航海運事業者の競争力を強化し、代替建造を促進することが必要である。

このため、検討会を設置し、①内航海運業の現状と内航海運が目指すべき中長期的な方向性について、②代替建造を加速させるための具体的方策について等の論点について議論し、具体的な取組みの方向性を取りまとめることとしたい。

2. 今後の進め方

年度内に5回程度会議を開催し、大枠の方向性についてとりまとめを行う。

- | | | |
|----------------------------|-------|------------|
| 11月15日 | 第1回会議 | 総論 |
| (17:30～19:30 国土交通省8F国際会議室) | | |
| 12月(予定) | 第2回会議 | 意見発表 |
| 1月(予定) | 第3回会議 | 意見発表、論点整理① |
| 2月(予定) | 第4回会議 | 論点整理② |
| 3月(予定) | 第5回会議 | 方向性のとりまとめ |